

# アサヒ アサヒ

—創刊号—

<b>審議結果</b>	一般質問は20人	生まれ変わるものとしている市民病院	22年度予算決まる	あま市議会スタート
21P	10P	8P	4P	2P

## 第1回あま市子ども議会が開催されました

関連記事を裏表紙に掲載しています。



# あま市議会だより

## の創刊にあたり



あま市議会

議長

松下昭憲

8万8千有余の市民の熱い思いのもと、この3月に、あま市が誕生をしました。現在、行政はもとより、議会においても、旧3町でのこれまでの方式を調整しながら、あま市としての新しい方向を模索しつつあるところです。

そのような中、滞りなく議会広報が発刊できるのは、関係各位のひとかたならぬご尽力のたまものであると感謝し、厚く

御礼申し上げます。

さて、議会広報は、一般質問や行政側の対処策などを、簡潔に分かりやすくお伝えするという使命を担っております。古今東西、数多くの議会が発行しておりますが、とりわけ、あま市の議会広報は、文章の作成から編集までを、議員自らが行います。平易で明解な文章を作成するのは、決してたやすい作業ではありません。ですが、市民

の皆様と議会をつなぐパイプ役という認識のもと、広報委員は、日々、努力を重ねております。どうか、私たちの手作りの広報に目を通していただき、忌憚なきご意見などちようだいできればと思います。

今後とも、皆様方のご支援、ご指導、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

### 40人での あま市議会スタート 人事構成決まる



仮議場での初議会

#### 常任委員会

●各委員などの顔ぶれ

◎印 委員長  
○印 副委員長

議長 松下 昭憲  
副議長 吉川 景男  
監査委員 岩本 一三  
農業委員 林 豊

#### 厚生委員会

◎伊藤 嘉規  
○山田 あつ子  
石田 良雄  
石川 尚子  
柏原 功子  
林 正彦  
室田 卓史  
佐藤 次男  
寺本 隆男  
水谷 康治  
林 立規  
亀掛川 参生  
林 豊

#### 総務文教委員会

◎八島 進  
○足立 詔子

#### 建設産業委員会

◎杉藤 憲二  
○新間 賢治  
清田 英樹  
倉橋 博  
前田 豊光  
青木 敏己  
伊藤 照光  
藤井 定彦  
鈴木 弘  
安江 智弘  
櫻井 信夫  
野中 幸夫  
松浦 茂昌

加藤 正  
橋口 紀義  
後藤 幸正  
寺本 かね子  
花本 敏行  
横井 敏夫  
渡邊 明  
吉川 景男  
加藤 哲生  
横井 正秀  
岩本 一三

議会運営委員会

一部事務組合議会

◎ 青木敏己  
○ 亀卦川参生  
山田あつ子  
藤井定彦  
杉藤憲二  
伊藤嘉規  
八島進  
水谷康治  
林立規

海部東部消防組合議員

松下昭憲  
藤井定彦  
横井敏夫  
杉藤憲二  
渡邊隆明  
寺本賢治  
新間賢治  
五条広域事務組合議員

特別委員会

議会だより編集特別委員会

裏表紙に掲載しました。

市民病院建設調査特別委員会

◎ 松下昭憲  
○ 吉川景男  
他は、正副委員長を除く全議員

海部地区水防事務

組合議員

櫻井信夫

八島進  
加藤哲生  
横井正秀

海部地区環境事務

組合議員

花木敏行  
青木敏己

海部地区急病診療所

組合議員

鈴木良弘  
安江智子  
水谷康治

# あま市の憲法(条例)、定まる

4月臨時会

あま市本庁舎



3月に  
3町合併後、最初のあま市議会臨時会が4月12、13両日行われ、議長選出をはじめ、議会運営の構成を決めました。平成23年4月30日までは旧3町議会議員が、そのまま在任しての総数40人でスタートしました。

## 空白期間が許されない業務を専決

議会構成が決まったのち初代議長のもと、執行部から提出された議案が審議されました。新市への移行に際し、市民生活や福祉サービスをはじめとする空白期間が許されない重要な業務を継続するための条例158件や、執行するための暫定予算(市長が決まるまでの)が専決処分にてすべて承認されました。関連記事を8、9ページに掲載しています。

**問** 市国民健康保険税条例ですが、高過ぎて払えないなど、国保証が資格証明書になって、病院にもかかることもできない状況をつくっていけないと思うのですが。

**保険医療課長** 法律上、資格者書は、出さないといけないですが、資格者書によって、国保の被保険者が困ることのないようにしたいです。

**問** コミュニティ施設の利用時間にばらつきがあ

りますが、統一できませんか。

**総務部長** できるものは統一を図っていきたいです。

(編集委員会 注)  
資格証明書とは国保の被保険者であることの証明書で、医療を受けるときは、いったん全額自己負担になります。



6月議会最終日

# ま市新年度予算を可決

6月定例会は、

6月8日から24日までの17日間、開かれました。

定例会初日には、村上市長が、「使命は、一生涯、住み続けたいまち“あま”を実現すること」と、市政運営の基本的な考えを表明。

その後、条例の一部改正や22年度の一般会計や各会計予算などを審議しました。条例や新年度予算は、それぞれ所管の常任委員会に付託。慎重に審査した結果、提案された議案をすべて原案のとおり可決しました。

## 平

成22年度の市の一般会計と9つの特別会計、3

つの企業会計をあわせた当初予算総額が、447億6384万円と決まりました。このうち、一般会計は251億2235万円、前年度比（旧3町の七宝、美和、甚目寺の合計）13.9%、30億6874万円の増加となりました。

増加の主な原因は、新規の子ども手当支給事業（子ども手当+児童手当）が前年度の児童手当事業と比べ、約11億4000万円。市への昇格で新たに生活保護事業が加わり、約12億5000万円などによるものです。なお、新年度の事業など詳しくは8月1日発行の「広報あま」に掲載されています。どうぞご覧ください。

## 一

一般会計の歳入では、厳しい雇用・所得環境が続い

ていることから個人、法人市民税の大幅な減少を見込み、前年度比7%減の94億7195万円となりました。

借金に当たる市債は、国の財政見通しを勘案し、財源不足を補てんする臨時財政対策債など22%増の26億8020万円発行します。

## 高

度先端産業立地奨励条例が制定されました。こ

れは、市内にバイオテクノロジーやIT関連など、先端産業の工場新設や、増設する企業を誘致し、あま市の産業の高度化及び地域の活性化を図るものです。この条例は第1回臨時会にて制定されました。

## 平成22年度会計別予算一覧表

(単位：万円、%)

会計名	22年度	21年度 旧3町合計額	増減額	伸び率	
一般会計	251億2235	220億5360	30億6874	13.91	
国民健康保険特別会計	91億3012	89億1088	2億1923	2.46	
土地取得特別会計	6081	1億1306	△5225	△46.22	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4256	4260	△5	△0.11	
簡易水道事業特別会計	3976	3936	40	1.02	
市営住宅管理事業特別会計	5807	6082	△275	△4.52	
老人保健特別会計	688	1534	△846	△55.11	
介護保険特別会計	保険事業勘定	35億8470	33億9819	1億8650	5.49
	サービス事業勘定	1516	720	796	110.38
公共下水道事業特別会計	17億633	21億4869	△4億4235	△20.59	
後期高齢者医療特別会計	12億4279	10億1518	2億2761	22.42	
合計	410億956	378億497	32億458	8.48	
企業会計(2水道・病院事業)	37億5427				
総計	447億6384				

注1) 合計欄、総計欄は各会計の端数処理により一致しません。

注2) 増減額、伸び率は端数処理により、表内での計算と一致しません。

## 通

常は、3月議会に翌年度予算(当初予算)を審議しますが、合併により通常の事務手続きができないので、暫定予算を経て、6月議会に年間予算(いわゆる当初予算)が提出されました。左記の表は、22年度あま市の

会計別予算一覧表です。一つの市となり、旧3町で独自に各々進めてきた事務事業の見直しによる減額や、反対に事務の統合に伴う増額となった事業もあります。

# 総額で447億円のあ

## 介護予防事業の利用見込みは

問 老人保健という制度はありません。この会計はいつまで続きますか。

市民生活部長 老人保健制度は平成20年度に後期高齢者医療制度にかわっています。医療費の支払いなどに必要なため継続しています。国の方針が正式決定していませんので、本年度で終了と言えない状況です。

問 介護給付費収入の新予防給付ケアマネジメント収入とは。

福祉部長 介護保険の中で、要支援1及び要支援2の方の介護予防サービス給付です。

問 介護予防事業の利用見込みは。

福祉部長 栄養改善事業を確認するための血液検査、15名。通所による介護予防を実施するための運動機能向上事業、60名を予定。また理学療法士

による運動機能向上の教室で、1回10名程度、歯科医師による口腔機能に関する講話や健診など、1回10名程度を予定しています。



総合福祉センターでのデイサービス

問 下水道事業費で今年度の関連予算は。

下水道課長 管きよ整備工事として5億9625万円、舗装復旧工事で、

1億2440万円です。問 浄化槽の雨水貯留槽転用費、補助金などのパンフレットはありますか。

下水道課長 地元説明会の説明資料としてパンフレットを配布しています。

## 市民病院の収入を増やすには

問 市民病院は8億円ほど、市としての負担があります。収入を増やすには医師を増やすしか方法はないと思いますが、そのためにどういった努力をしますか。

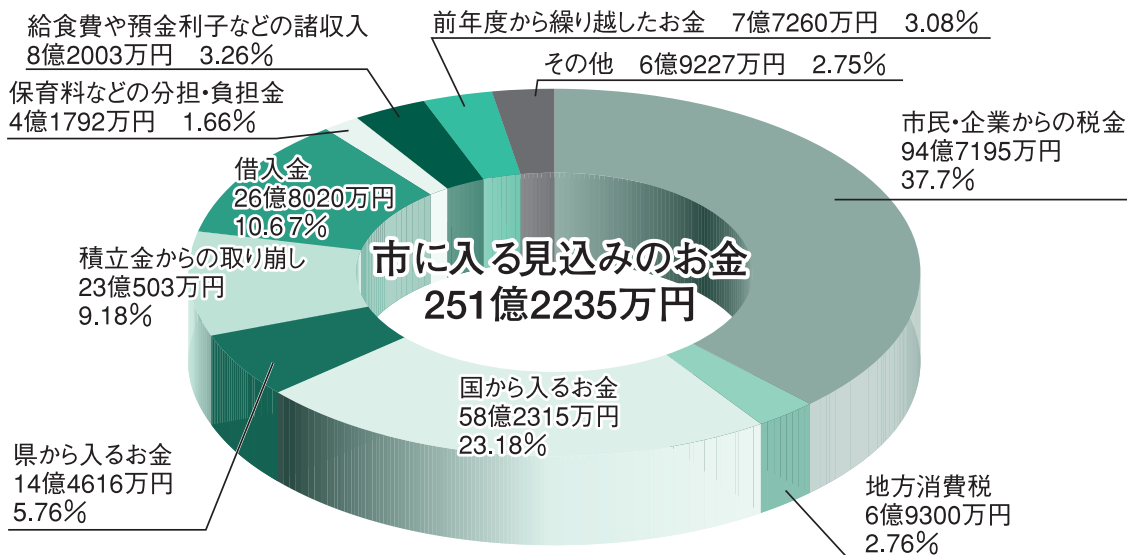
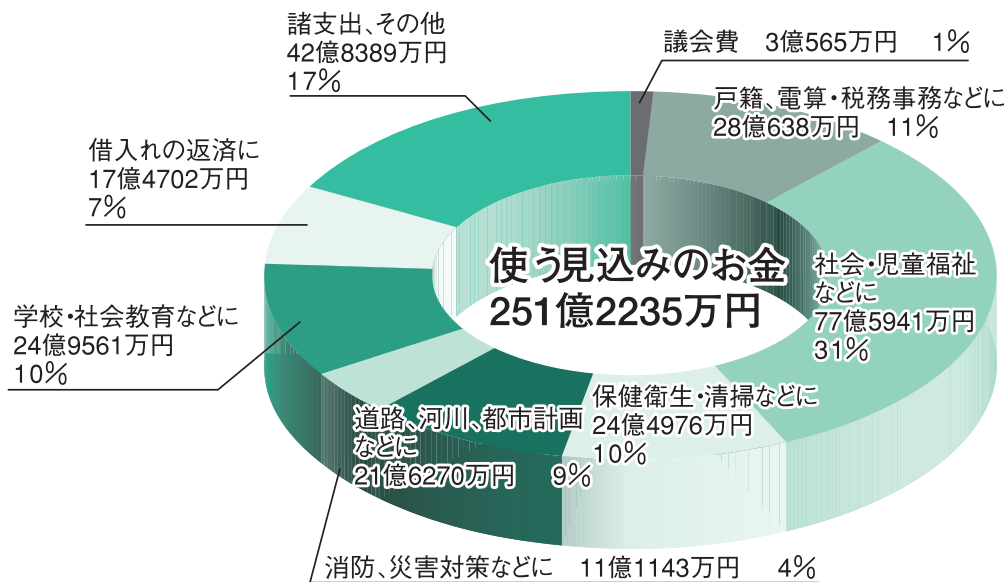
市民病院事務局長 医師不足には苦慮しています。が、大学などを通じて医師の確保に努めていきます。

# 一般会計

## 8万8千人の英知と力を集め 市民主導型のまちづくりを

当初予算は251億円  
 7.14%減  
 94億7195万円

「8万8千人の市民の英知と力を集め、市民主導型のまちづくりを進めていきます」と、市長の施政方針が示され、スタートしたあま市。新年度予算は、本会議での2日間の審議を踏まえ、3つの常任委員会へ付託され、計5日間にわたって審議されました。一般会計では、251億2235万円をめぐり、活発な質疑が交わされました。その結果、付託された議案はすべてを可決すべきものと決定。24日に行われた本会議で可決しました。



# 財政の弾力性を示す指標は

**問** 財政の弾力性を示す指標は何%で、目標はどれくらいと考えますか。

**企画財政部長** 20年度決算でみますと、七宝町90・8%、美和町92・3%、

甚目寺町79・3%で、七宝・美和町は、県平均を10ポイント近く上回って、財政が硬直化しています。市の分は、決算が済まないとできません。

同指標を県平均値に近づけるため、経費削減を進めます。

**問** 市の借金は、いずれ市民が返さなければなりません。ぜひとも安い金利を探して借入れをしてください。

**企画財政部長** 地元金融機関で入札したところ、0・793%の低金利がありました。今後も入札を進めていきます。

**問** 市税の滞納額がいくらかで、収納率アップ策は

どのように考えていますか。

**総務部長** 21年度見込みで10億1000万円です。相談に乗るなど根気よく納税者に対応して、納めていただくようにしています。



収納課の窓口

# あま市の新しい船出の方向は

**問** 新市の基本構想作成費が予算化されています。市の新しい船出の方

向がまったく見えませんが、どう考えているのでしょうか。

**企画財政部長** 今国会で、基本構想の策定義務を削除する地方自治法改正の審議がされていたために、予算を組みませんでした。国の方向が変わったということで、9月議会には補正予算をお願いしたいと思っています。

**問** 給食センター費が、旧3町に比べて増えているがどうしてですか。

**人事秘書課長** 昨年までは、保育園給食調理員13人分を保育費で計上していましたが、今年から給食センター費で計上したために増えました。

# 七宝駅、木田駅、甚目寺駅の開発は

**問** 木田駅前開発の予算は7・5億円。工事費を含めた資料は、委員会に提示されますか。

**市長** 全員協議会になると思いますが、工事費など必要な資料を提示します。

**問** 七宝町出身者としては、甚目寺駅周辺のまちづくりの内容が分からない。詳しい説明をしてほしい。

**都市計画課長** 総予算は31億円ぐらいで、75%ぐらいの進捗。最終年度なのでやりきるしかありません。

**問** 甚目寺駅、木田駅で大きな事業をやっていますが、なぜ七宝駅がないのか広報等で市民に知らせてほしい。

**市長** 旧七宝町の経緯を調べて、お知らせします。  
**問** 総務企画費で、名古

屋市高速鉄道6号線建設促進に関する負担金があります。これからも続けて支出されるのでしょうか。

**企画政策課長** 大治町とあま市で3万円ずつ出し、地下鉄延伸を促進していきます。



開発中の甚目寺駅前ロータリー

# 夏祭りの申請は、提出できなかったが

**問** 美和町の商工会が、夏祭りの補助申請は「待ってくれ」と言われて提出できなかったと聞いていますが。

**市長** 旧各町の行事ではなく、市のお祭りとしての予算だけにしぼりました。来年は、市としてのいい祭りをしていきたいと考えます。

**問** 図書館の図書購入費で、公民館分の購入に比べて、図書館の購入分が少なくありませんか。  
**生涯学習課長** 旧七宝では、県の移動図書館がきていましたが、合併で図書館ができ、こなくなりましてので、公民館・図書室の本を充実させます。



**市民病院**

**地域に根ざした病院を  
26年4月からの開院を目標に**

4月の最初の臨時会での、専決処分で承認された158条例の中には、あま市の地域活性化に資する企業誘致条例や、将来のまちづくり推進のための基金の設置、また3町合併後、公立尾陽病院から「あま市民病院」へと生まれ変わった、市民の健康維持、公共の福祉を増進する市民病院事業の設置条例も含まれています。

ここでは臨時会での審議の中から、市民病院事業の設置や高度先端産業立地奨励に関する質疑などを取り上げ、内容を要約してお伝えします。

## 地域の基幹病院として建替え

5月に開かれた全員協議会で、病院建設に伴う諸経費の説明がありました。

新築工事の建設費に約30億円、

医療機器に掛かる費用が約20億円、

その他、医療情報システムや現在の市民病院の解体費などで約10億円、

用地購入には約10億円で、

総計約70億円になります。



## 医師の確保など 今後の見通しは

**問** 病院の経営面は医師数に大きく左右されますが、医師確保ではどのように考え、今後の見通しはどうか、見通していますか。

**市民病院事務局長** 今年の3月1日現在の常勤医師は9人でした。4月1日になり、常勤の医師が11人です。今後の見込みは、今、内定しているのは、7月から常勤の内科医師が1人入る予定です。今後も医師の確保に努めていきます。

**問** 市民病院ならば、経済性と公共の福祉の増進という相反する2面を追求しなければなりません。市民の健康、生命を守る役割が大切になってきていますが、重要と考えますか。

**市民病院事務局長** 公的病院の役割は、民間病院と違い、採算の合わないところを切っていくこと

はやつてはいけないことだと思っています。ただ、経済性ももちろん考えていく必要もあります。

**問** 市民病院では小児科に入院できないため、お産ができない現状ですが、積極的にこの分野の医師確保など、医師養成、派遣を国、県、大学などに働きかけていきますか。

**市民病院事務局長** 4月1日現在、常勤の小児科医師が1人です。また、産婦人科の医師が常勤で1人、非常勤の医師は小児科で2人です。今後も、病院長と協議を重ねながら、この分野も要請をしていきます。大学など、関係機関にも働きかけをしていきます。

**問** 住民の健康診断、あるいは市職員の健康診断も、市民病院で一定部分を受け持つことは可能ですか。そういう方向を検討しますか。

**市民病院事務局長** 職員の健康診断は、旧甚目寺町では、旧尾陽病院で行っていました。できるだけ職員については、経営的な面も含めながら、実施していきたいです。市民に対しては、受け入れられる限り実施をしていきたいです。

## 工場が撤退したら

**問** あま市高度先端産業立地奨励条例ですが、地元雇用を進めていく上で正社員化を要求していく必要はないですか。

**産業振興課長** この条例は、愛知県も推奨しています。雇用の問題ですが、企業側にお願いをしてきました。

**問** 他の自治体で企業を誘致して奨励金を出し、その後、企業が工場内部施設を中国などに売却して、工場の撤退という形となり、自治体が払った奨励金をどうするのかという問題がありませんか。そういうことへの対応は考えていますか。

**産業振興課長** そのようなことのないように、中小企業者の皆様に経済の活性化を働きかけていきます。



市民病院会計窓口

高度先端産業立地予定地  
(七宝町安松地区)



あつてしかるべきと判断しています。

**問** 旧町の段階でも、10億円あるいは5億円の財政調整基金を取り崩して、工事や建物関係でもやりくりができてきたと思えます。いくらぐらいの大規模事業に対応してこの基金をつくっていくんだということがなければ、いくらまでこの基金を積んでいくかということにならないと思えます。どれぐらい大きな規模の事業をやるうとしていきますか。

**企画財政部長** いくらまでの事業を担保として、こういう基金に使うのかという話については、いくらまでという判断はしておりません。

## どれぐらいの事業を

**問** まちづくり事業の推進基金条例ですが、目的別に貯金していくことが本来だと思えます。台所事情が苦しいにもかかわらず、なぜ新たな基金を設置するのですか。

**企画財政部長** 自治体が今後存続するためには、当然ストックする財源が

# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、6月15日、16日の2日間にわたり行われました。40人の議員のうち、20人が登壇。市民の注目が集まる中、巡回バスをはじめ、市長の行政方針、市民病院など、市政の基本姿勢を質問しました。

### 巡回バスの実施を求める



亀卦川 参生 議員

**問** 4月の臨時議会で、巡回バスは全市的課題と答弁。現在どこまで検討しているか。  
**企画財政部長** 運行中の市社会福祉

**問** さまざまな角度から検討したい。  
**問** 車のない人が3庁舎、各公共施設、病院などに行くのにかなり不便。不便を解消するためにも実施を。

協議会・病院バス、近隣市・町の巡回バスを含めて、運行実態等の調査を進めている。  
**問** 運行を前提にした調査が必要では。  
**企画財政部長** 市民のニーズも含め、さまざまな角度から検討したい。

**企画財政部長** 市長のマネIFESTOにもあるとおり全市的課題。いま事前調査の段階。  
**問** 部長も住民に迷惑をかけているのは事実と云っている。1〜2年先ではなく、今すぐに具体的な検討を。  
**企画財政部長** 真剣に取り組むべき事ということ、市長からも指示されている。しっかりと検討する。

**問** 市税条例が決められる。  
**問** だが、蜂須賀土地改良区内で商店・工場の建っているところは現況課税にならない。実施できない条例を定めるべきではない。  
**総務部長** 条例違反ではないと考えている。  
**問** 守らないのは条例違反。条例を改正すべきだ。  
**総務部長** 公平性では極めて遺憾な状態だが、しかたがない。課税方法を早く見直せるよう進める。



七宝地内を運行する福祉センター巡回バス

### 施政方針を問う



橋口 紀義 議員

**問** 市民病院建設は、多額な予算が必要。市民負担が増え、他の市民サービスの停滞を招かないとは十分得られているか。

**市長** 質の高い医療構築のため、建設を進める。事務事業を見直し、市民に理解を求める。  
**問** 行財政改革で、市民団体、ボランティア団体の補助費削減は、団体の運営にも支障を来す。市が積極的に企業誘致などを図り、市民負担の軽減を。  
**市長** 地域主権に見合った人材育成を推進し、ポ

ランティア団体ともパートナーとして連携していく。  
**問** 歴史や文化の特色を活かすことや、特産品、農産物の販路拡大も視野に入れた多角的事業は。  
**産業振興課長** 地域資源を活用し、地域力をアップした事業展開とPRのための拠点整備をする。  
**問** 排水路の清掃や、水質検査はどのようにしているのか。  
**市民生活部長** 年に数

回、各機関と連携して清掃・検査を行っている。  
**問** 資源ごみ収集日に職員が巡回し、現場の状況を知ってほしいとの市民の声があるが、対応は。  
**市民生活部長** 区長と協力し、担当課が対応する。  
**問** ゴミステーション増設の要望があるが、設置に基準はあるか。  
**市民生活部長** 特にないが、区長と協議してもらい対応を。



中萱津のゴミステーション



子育て支援課



美和学校給食センター

## 民間委託は偽装請負では



加藤 哲生 議員

**問** 総務省統計局による、平成19年の週労働時間60時間以上の労働者の割合は10・3%となっており、長時間労働の実態がみられる。22年の4月

## 職員増員で長時間勤務の是正を

から5月までの市職員の残業時間は、**企画財政部長** 4月は時間外勤務対象職員469人中339人が時間外を行い、平均28・8時間、最高137時間、100時間を超えた職員は12人。5月は469人中339人が行い、平均18・8時間、最高109時間、100時間を超えた職員は2人。



野中 幸夫 議員

**問** 美和学校給食センターの調理業務は、民間委託されている。調理業務委託仕様書では、衛生管理や調査手順など、市側が指示・管理しているのに、労働者派遣ではない

**問** 長時間勤務だが、健康管理対策の徹底は。  
**企画財政部長** 合併直後、生活保護など新たに処理する事務、年度当初の各種税の納付書発送事務などにより、長時間勤務が発生した。深夜に及ぶ労働は健康を脅かすもので労働災害を引き起こす恐れもある。所属長による健康管理の徹底を図っていく。

**問** 職員の削減で長時間勤務などの不備は出ていないか。所定労働時間を超えれば、割増賃金になる。職員の増員は。  
**企画財政部長** 合併に伴う市職員の削減は行っていないので、これによる長時間勤務は発生していないと考える。職員定数については、定員適正化計画を策定する中で検討する。各課の仕事量に対する配置人員数や、事務配分について検証し、定数配分の見直しを検討する。

か。また平成23年3月31日までの契約なので、その時点から市直営に戻すべきではないか。  
**教育部長** 栄養教諭・学校栄養職員から指導・命令関係は生じていないので請負である。平成23年4月1日からは検討する。

**問** 美和学校給食センターが食材を業者に提供し、調理器具を無償提供し、調理作業中の加熱状況を栄養教諭などの指示で計画・記録し報告するとなっている。これは春日井市で給食を民間委託し、労働局から偽装請負ではないかと是正指導を受けた内容と同じではないか。  
**教育部長** 現状は違法ではないと思っている。しかし、機材については今後検討する必要があると考える。

国の事業仕分けの様子(m s n産経ニュースのHPより)



## 市の中央部 七宝駅の整備開発を



倉橋 博 議員

**問** 旧3町で七宝駅周辺地区整備、開発に向けた協議があったか。整備が大変遅れているが、**建設産業部長** 旧3町は、近年名古屋市のベッタタウンとして発展して

きた。あま市として、同じ名古屋市計画区域として土地利用・道路網も含め、まちづくりのあり方について調整・協議をしてきた。

**問** 旧3町では端っこにあった七宝駅は、合併して中央部にあたる。合併のメリットを実感、実現してもらったための取り組みとして、七宝駅周辺整備事業計画推進協議会(仮称)の設置を。**市長** 名古屋都市圏の住

民の足として名鉄津島線、県道名古屋津島線にバス路線がある。道路網においても広域的な都市間をつないでいる東名阪自動車道・国道302号・西尾張中央道があり、現在、名古屋津島バイパスの計画的な整備を進めているところ。これらの立地ポテンシャル(将来性のある)の均衡ある発展を図るため、市の総合的な計画の策定が必要であると考える。

市民の重要な交通手段として、七宝駅周辺の利便性の向上は大きな課題のひとつと認識した上で、市の総合計画の中で、その位置付けを検討していく。



開発が待たれる七宝駅

## 行政の手法は 事業仕分けの導入を



伊藤 嘉規 議員

**問** 事務事業の見直しや実施方法の組み換えは、どういった判断方法で行うのか。

**市長** 何のための事務事業なのか、当初の目的を

達成しているのではないかと、本来だれがやるべき事務事業なのか、実施方法は妥当なのか、事業規模は適正か、などについて、ゼロベースで検討をしていく予定。

**問** 事業仕分けの導入について見解を伺う。

**市長** 国で実施しているような事業仕分けではない。事務事業の見直しや実施方法の組み換えにつ

いて、まずは行政の事務事業内容を再検証し、税がさらに有効に使われているかを確かめる手段として考えている。

**問** 市民に仕分け作業に参画してもらうことにより、職員や住民の意識改革につながると思うかどうか。

**市長** 市民に、事務事業の見直しなどの作業に主体的に参画していただくことは、市民主導型行政を推進していく上で、最

も重要なことであると思う。

**問** 外部の専門家に依頼して行っている自治体が多いが、そのつもりはあるか。

**市長** 行政に外部の目を入れることは有効な方法であると考えており、実施に当たったの詳しい制度設計は今後検討していくが、第一段階として、市内部の自己点検・評価を行っていきたいと考えている。



市民病院バス



藤井 定彦 議員

## 住民の足となる巡回バスを

**問** 合併に伴い市域が広くなり、各施設の共有化、また分庁方式のため、高齢者、特に障がいをもっている方々にとって、非常に不便となった。住民

**問** 旧七宝町を巡回している福祉バスは継続するのか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 日赤ルートが開設されたが、周知の方法と利用者数は。

**問** 市民に対して、温かい考え、進んだ考えはあるか。

は、市としての施策に位置づけ、十分整理をした上で、最も効果的な手法で具体化、事業化していくべきと考えており、4年間の任期中に計画的に実施し、市民の皆様のご負担に配慮していく。

**問** 旧七宝町を巡回している福祉バスは継続するのか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 市民に対して、温かい考え、進んだ考えはあるか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 合併に伴い市域が広くなり、各施設の共有化、また分庁方式のため、高齢者、特に障がいをもっている方々にとって、非常に不便となった。住民

**問** 旧七宝町を巡回している福祉バスは継続するのか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 市民に対して、温かい考え、進んだ考えはあるか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 合併に伴い市域が広くなり、各施設の共有化、また分庁方式のため、高齢者、特に障がいをもっている方々にとって、非常に不便となった。住民

**問** 旧七宝町を巡回している福祉バスは継続するのか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

**問** 市民に対して、温かい考え、進んだ考えはあるか。

**問** 福祉部長 継続するとう結論が出ている。

(編集委員会 注)

デマンドバス・タクシ

ーとは利用者のデマンド(需要、要求)にあわせて基本路線の外の迂回路線を経由する予約制のバス・タクシーのこと。

## マニフェスト工程表の早期作成を



櫻井 信夫 議員

**問** マニフェスト工程表(ロードマップ)の早期作成を。  
**市長** 本年10月までに作成するよう職員に指示した。

**問** 旧3町も行政改革のアクションプランをつくり、それなりの成果を上げた。合併して市になれば単独町でできないものができるということなので、レベルアップした

**問** 旧3町も行政改革のアクションプランをつくり、それなりの成果を上げた。合併して市になれば単独町でできないものができるということなので、レベルアップした

**問** 旧3町も行政改革のアクションプランをつくり、それなりの成果を上げた。合併して市になれば単独町でできないものができるということなので、レベルアップした

**問** 旧3町も行政改革のアクションプランをつくり、それなりの成果を上げた。合併して市になれば単独町でできないものができるということなので、レベルアップした

**問** 旧3町も行政改革のアクションプランをつくり、それなりの成果を上げた。合併して市になれば単独町でできないものができるということなので、レベルアップした

市民主導型行政の推進に努める本庁舎



# 災害時の飲料水確保は



安江 智子 議員

**問** 緊急事態に備えた耐震貯水槽は何基あり、全市民の何日分の確保か。  
**総務部長** 耐震性貯水槽は3基、水量は20万リットル。今年度は10万リットルを計上し、これらを含め、市民

1人当たり約3・4リットル。およそ1日分の飲料水の確保。  
**問** 公共施設内の自販機設置台数は。  
**総務部長** 35台。災害時の備蓄飲料ペットボトルは3040本。

**総務部長** 地方自治法の改正により、余剰スペースの有効活用が認められたので、市として自主財源確保を図るため、一般競争入札による行政財産の貸付について今後検討する。

**問** 自主財源確保のため、全市民の安心と安全を守る「災害対応型自販機」の設置や、自販機設置を目的外使用許可に変え、一般競争入札で歳入増を図ってはどうか。

企業の下請につながり、地元企業の活性化に至るのではないかと考えている。そうした観点から、入札時に下請け業者の指定や資材の購入などを地元企業に行わせることは、自由競争の障害、また、価格が高騰することも考えられ、今後まだまだ検討が必要ではないかと思う。なお、JVは、過去においてあまり実績がないので、今後の検討課題としたい。

## 公共事業に地元企業の活用を



石田 良雄 議員

**問** 公共工事などで、地元企業は点数が足りず、入札に参加できない工事では、地元企業を活用するように入札時などに、文書で通達し、地元企業

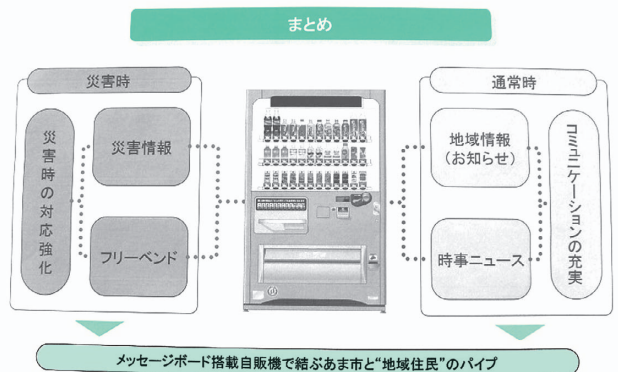
の活性化を図ることはできないか。また、地元企業とのJVを提案できないか。  
**総務部長** 業者指名の段階で地元業者の選定を優先し、入札に参加できるように配慮している。落札した地元業者が地元企業を下請業者とすることが多分にあることと思われる。入札時における地元業者選定が結果的に地元

企業の下請につながり、地元企業の活性化に至るのではないかと考えている。そうした観点から、入札時に下請け業者の指定や資材の購入などを地元企業に行わせることは、自由競争の障害、また、価格が高騰することも考えられ、今後まだまだ検討が必要ではないかと思う。なお、JVは、過去においてあまり実績がないので、今後の検討課題としたい。

**問** ごみの収集運搬業者が時間より遅く収集していることが多々ある。そこで、世帯数で業者を割り、平等に業者に振り分け、住民に迷惑がかからないよう地元企業を活用し、敏速に収集・運搬できるように改善していく考えは。  
**市民生活部長** 旧甚目寺地域のプラスチックごみ収集については、本年4月より週1回に変更し利便性を図った。今後も現

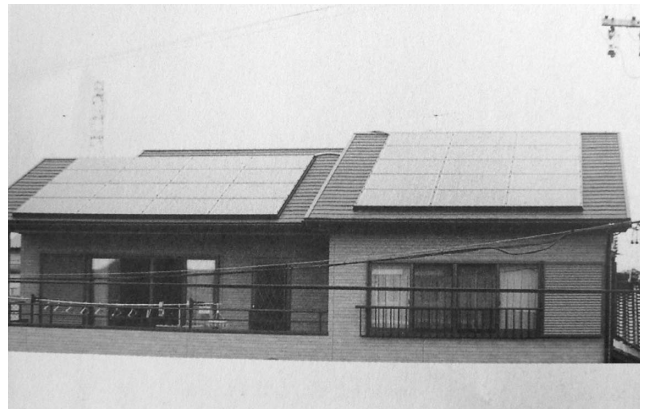
在の業者に十分指導を行い迷惑をかけないよう環境保全に努めたい。

災害対応型自販機



きれいに整備された水路





住宅用太陽光発電設備

## 地球温暖化防止の取り組みを



柏原 功 議員

**問** 地球温暖化防止の取り組みへの考え方、また、「チャレンジ25キャンペーン」に参加すべきでは。  
**市民生活部長** 温室効果ガス25%削減が表明され、「チャレンジ25キャンペーン」に参加すべきでは。

ペーン」が国民運動と位置づけられた。温暖化の原因であるCO2の削減に、一人一人ができることから行動することが大切と考える。広報などで、暮らしの中の温暖化防止を呼びかけ、具体的な啓発を行っている。今後も推進していく。

**問** 施設や家庭の電気を消す「ライトダウンキャンペーン2010」に参加しては。  
**市民生活部長** 6月21日

と7月7日の午後8時から10時、ライトアップ施設や屋内照明の一齐消灯を、市民にもご協力いただくよう、ホームページで周知したい。

**問** 住宅用太陽光発電設備について、近隣市町村の現状は。市から補助金を出して、普及に努めるべきでは。  
**市民生活部長** 近隣では津島市、愛西市、弥富市、清須市、稲沢市などが、1キロワット2万円から5万円

## 子宮頸がん予防接種に助成を



足立 詔子 議員

**問** 昨年、子宮頸がんの予防ワクチンを厚生労働省が承認。ワクチン助成とセットで子宮頸がん発症自体を「ゼロ」に近づける取り組みが、全国で

加速している。本年度も女性特有のがん検診推進事業が予算計上されているが、細胞診とHPV検査を併用した子宮頸がん予防検診が、有効とされている。  
**市民生活部長** 現在、任意の予防接種と位置づけ

られており、公費による接種は行われていない。  
**問** 近隣市・町のワクチン公費助成の取り組みは。  
**市民生活部長** 飛島村は11歳から14歳女子に1回5千円で3回助成。名古屋市は、中学1・2年女子に、医師会に委託し無料で3回接種している。

**問** 女性特有のがん検診推進事業の内容は。  
**市民生活部長** 平成22年の対象者、子宮頸がん2876人、乳がん2954人に、検診無料クーポン券を郵送した。受診方法は、集団検診と個別検診がある。  
**問** 子宮頸がんは若い女性に急増しているが、ワクチン接種費用が高いため、接種を希望できない。1日も早い接種への公費助成を求めるがどうか。  
**市長** 財源が確保できたら取り組んでいきたい。



がん検診受付

行列のできるコミュニティプラザ萱津



旧七宝町での夏祭り

市民参画行事 合併でどうなる



新間 賢治 議員



後藤 幸正 議員

コミュニティプラザ萱津施設の充実を

**問** 昨年7月、地域のふれあい場としての「コミュニティプラザ萱津」がオープンしたが、大変評判が良く、利用者数も当初の予想を上回っている。

- 健康増進目的の利用者が増加しており、機器用具、設備の不足を訴える声を多く耳にする。次の事項について、検討を。
1. 現在設置されている機器、また、数は。
  2. 新たに「ベルトマッサージ機」の導入を。
  3. 卓球台の設置を。
  4. お風呂の洗い場対策を。
  5. 駐車場、駐輪場の充

**市長** 五条広域事務組合が管理する施設のため、分かる範囲で担当部長が答える。

**市民生活部長** マッサージチェア4台、ヘルストロン4台、歩行器、エアロバイク、ジョーバ各1台を設置。質問の機器及び用具、浴室の洗い場などは組合に要望する。駐車場、駐輪場の不足は、組合に要望するが地球温暖化防止の、CO2削減

**問** 合併協定項目に「補助金、交付金などの取扱については関係団体等の理解と協力を得て、統一の方向で調整する。」とあるが、理解が得られないとは思えないが。

**企画財政部長** 夏祭り事業は、昨年度までは、旧3町にてそれぞれ開催していた。今年度のみ市

**問** 夏祭り事業は現行事業を継続実施するのか。今後、市民との交流はどう図っていくのか。

**問** 社会教育事業、社会体育事業については、原則として現行事業を引き継ぐものとするとなっているが、現在と今後の展望は。

**教育部長** 旧3町の現行事業を引き継ぐべく協議したが、すべてにおいて実施することは難しい。市民としての一体感及び融和を図る上で、事業の見直しは必要であると考えている。来年度以降の事業については、関係団体と協議し、市民主導による事業の実施を考えている。

その他：市長の施政方針（6つの重点項目）について質問があった。

の観点から、できれば車の乗り合わせや徒歩で利用してほしい。



# 市民病院再生計画は



八島 進 議員

**問** 現在地で建設を前提とした場合、平成22年度から25年度までの事業予算の市負担金予想額は、**市民病院事務局長** 市負担金の予想額は、平成22年度、7億4300万円。

23年度、7億2000万円。24年度、6億7000万円。25年度、6億2000万円を予定している。

**問** 新設病院は、現在地以外で広いゆとりのある場所にすべきでは。交通アクセス、運用面でも別の場所に新設するのが合理的では。

**市民病院事務局長** 敷地面積が多くとれる場所が理想だが、新候補地を取得するには日数がかか

り、特に、市街化調整区域の建設は、非常に厳しくなっているため、現在の場所が適当と思う。

**問** 建設にあたり、全域の市民の意見を聞き、場合によっては、市長の建設期限公約を延長する英断も必要では。

**市長** 市民の声を聞き、建設を進めたい。今決断しないと10年先になる。25年度までは3億6300万円の補助があるので、建設期限公約の延長

は考えていない。

**問** 現在、下水道に接続可能な公共施設名は。

**上下水道事業調整監** 伊福小学校・七宝体育館・坂牧コミュニティ防災センター。

**問** 行政は市民の手本だ。率先して接続工事をすべきでは。

**上下水道事業調整監** 健全な公共下水道運営は重要である。公共施設は規模が大きく多額の費用を要するので、今後計画的

に進めていく。

建替え検討中の市民病院



## 市南部地域の将来像は



寺本 隆男 議員

**問** 本年度の予算をみると、甚目寺駅、木田駅、その周辺の開発及びあま市民病院の改築と、北部ばかりにかたよりすぎているのではないか。もっと旧美

和町南部、旧七宝町に目を向けてはどうか。県道名古屋津島線バイパスの早期開通、尾張中央道まで開通すれば地下鉄6号線の誘致が促進される。安全なまちとして都市計画道路の完成の見通しは。

**建設産業部長** 市南部地域の都市計画道路の整備等、社会資本整備の重要性については、十分認識

している。県道名古屋津島線バイパスは、大治町の国道302号線から七宝庁舎西側の県道までの区間を、平成24年の春、暫定2車線の開通予定。都市計画道路は、まだまだ整備が進んでいない状況。市の財政は極めて厳しい状況であり、後年度においても厳しい財政運営を強いられることが予想される。限られた財源の中で、緊急度、優先度の

費用対効果による的確な

事業選別を行う中で、あま市として計画的に事業を進めたい。

完成が待たれる名古屋津島線バイパス





旧基目寺町での車座ミーティング

## 市長の行政方針と行政改革は



横井 敏夫 議員

**問** 「一生涯、住み続けたいまち『あま』に向け市民主導型行政を」と言われるが、市民参加・参画型と違うのなら、その方向性を示し、具体的な提案が必要では。

**市長** あま市民が、自分のことだけでなく、地域社会の事を考え、各事業に参画、参加することを望む。一人一人を社会に生かし、自発的に活動できるシステムを作りたい。市民自治の意識にあふれ、誇れる街づくりをすることが私の役目で、市民主導型行政と考える。

**問** 市長の言われる市民主導型行政とは、市民主導型街づくりのことで

は。

**市長** 市民主導型行政、街づくり、どちらも同じ。市民と社会が調和していく街づくりを。

**問** 財政状況が厳しいが、民間と比べて何らそんな色のない経営努力をしているか。特に人件費、人員計画は。退職金制度は。

**市長** 定員管理は、行政改革大綱と整合性を図り適正化計画を策定。退職金は愛知県市町村職員退

職手当組合の定めに沿ってよく考え。

**問** 退職金組合制度は弊弊しており、問題が多いといわれている。既得権と考えるか。

**市長** 制度が時代に合わなければ、きちんとした形にしなければならぬ。地方主権時代、きちんと勉強して、国県に提言していく。

## 市民病院 会計の流れ、改善を



林 正彦 議員

**問** 市民病院に「電子カルテ」が導入され、医療情報の共有化、情報伝達の迅速化、そして外来患者の待ち時間の短縮も期待されている。しかし、

外来患者の診察後の会計が変わり、「以前より面倒になった。あちこち移動しなければならない。」という声も聞いている。会計の流れは現在、どうなっているのか。

**市民病院事務局長** 診察終了後、会計窓口へ。放送呼び出し後、自動精算機で精算。院外処方のある方は再度会計窓口で領収印の押印の流れになっ

ている。施設が狭いので動線が悪く、分かりづらいため、院内の案内表示を大きくし、案内係を2人にした。動線を短くするため、自動精算機の移動を検討している。

**問** 外来患者の待ち時間について、以前とどう変わったか。

**市民病院事務局長** 受付から診察終了までは、医師が電子カルテに不慣れたため、時間がかかることもある。今後経験を積

み、さらなる時間短縮やサービス向上に努める。

電子カルテが導入された市民病院





絵本を通じて親子のふれあい



借地に立つ市民病院

## 市民病院の用地買収は



山田 あつ子 議員

**問** ブックススタート事業は合併前甚目寺町で実施していた。ブックススタートとは、本を通じて赤ちゃんと言葉を交わしながら、楽しい時間が持て

るよう応援するためのもの。イギリスで始められ、子どもの情操教育に大きな意義があり、注目されてきた。わが国でも、多くの自治体を取り組み、全国に広がっている。乳幼児健診の際に、赤ちゃん向けの絵本、子育て情報などをセットにして贈るもので、ヤングママたちには大変喜ばれている。赤ちゃんが生まれて

初めて本に出会うきっかけをつくるこの事業を、あま市においても続けてほしい。ブックススタート事業の新たな取り組みを検討できないか。

**教育部長** 旧甚目寺町で、3ヶ月健診の折に絵本などを配布し、読み聞かせの必要性を説明してきた。旧美和町では、美和図書館のボランティアグループにより、福祉センターの乳児健診において、親子が絵本を通じて

心のふれあうひとときを持つ活動として、絵本の読み聞かせを行っている。要望の深い事業と認識しているが、今後は旧美和町の方法を、ボランティアの方と協議し進めていきたい。

## ブックススタート事業の継続を



水谷 康治 議員

**問** 全員協議会での説明では、市民病院は借地で新築建替とのことだった。21年度、年5000万円近い借地料であり、財政は厳しいが買収の話は、全部ついているのか。

**問** 最近では、どの病院も厳しい状況だが、医療を必要とする高齢者が多くなり、受け入れて貰える病院が少なく大変苦労している方が多い。新築する機会に介護施設を造

る考えは。  
**市民病院事務局長** 病院にとつて予防医療から終末医療まで実施できるのが理想的だが、介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設などがあり、介護保険施設の整備については、旧海部郡地域の整備目標が定められており、それとの整合性を保つていく必要がある。特に病院との一体型が多い介護療養型医療施設は、23年度は

整備目標に達しているため、現在のところ設置は望めない状況。

# 選択的夫婦別姓の法制化にNO

## 陳情を採択

6月定

例会に提出された陳情は4件でした。担当の常任委員会で審査され、会議では、2件が採択、2件は不採択になりました。また任期満了などに伴い、あま市の教育委員や監査委員などの人事案件も提案され、こちらは委員会付託を省略し、すべて本会議で同意されました。

● 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情

（日本古来からの良き家族制度の崩壊を危惧するなどの理由で賛成多数により採択）

▽ 陳情者 日本の子供の未来を・守る会 愛知支部 安藤実知子

▼ 陳情の要旨 次の3点の理由により本制度導入に反対。

- 1、現在の日本の社会において、本制度を導入しなければならぬ合理的理由はない。
- 2、一般大衆が持つ氏や婚姻に関する習慣、社会制度自体を危うくする。
- 3、子どもへの影響につ

いて考慮されていない。

● 私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充

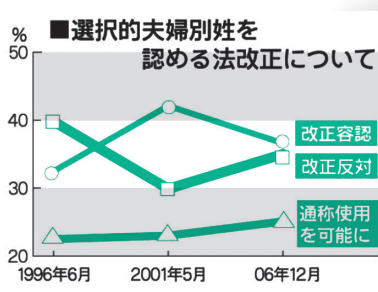
を求める陳情（賛成多数で採択）

▽ 陳情者 愛知私学助成をすすめる会 会長 中川初枝他2名

▼ 陳情の要旨 学費負担については、公立高校が無償化される一方で、私学には最大50万円の学費負担が残る。市町村については、父母負担を少しでも軽減するため、国の支援金とは別に、現行の授業料助成制度の堅持・拡充の検討を。

● 子ども手当の廃止を求める陳情（賛成少数で不採択）

● 働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情（賛成少数で不採択）



Yahoo! ニュース -毎日新聞- 夫婦別姓制度容認派減り、反対派増える 内閣府世論調査より

○ 市教育委員会委員の任命に同意

- 二ノ宮 鉄弥 氏
- 山田 健太郎 氏
- 小笠原 英司 氏
- 南谷 恵美子 氏
- 水野 良美 氏

○ 市監査委員の選任に同意

- 横橋 俊一 氏
- 岩本 一三 議員

市となり、新たに識見を有する者と議会選出の監査委員を選任。

○ 市公平委員会委員の選任に同意

- 水野 弘章 氏
- 佐藤 益美 氏
- 本田 照清 氏

市となり、新たに公平委員会を設置。公務員の不服申立てなどを審査する機関です。

○ 市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

- 鈴木 敏孝 氏
- 久米 俊二 氏
- 吉川 幹郎 氏

いずれの方も旧町から就任しており、市としての選任です。

○ 市人権擁護委員候補者の推薦に適任と答申

- 青木 多枝子 氏

9月30日にて任期満了となり、引き続き委員として推薦するものです。

○ 市選挙管理委員会委員の選挙で当選

- 長谷川 洋 氏
- 加藤 隆雄 氏
- 山田 廣正 氏
- 服部 紀夫 氏

○ 市選挙管理委員会委員補充員の選挙で当選

- 松本 博夫 氏
- 足立 光照 氏
- 足立 英子 氏
- 片岡美和子 氏

いずれの方も旧町から就任しており、市としての選任です。

# 4月臨時会、6月定例会で決まりました

4月12・13日に開かれた第1回臨時会と21日開催の第2回臨時会、そして会期が17日間にわたった6月定例会での審議結果を一覧表にてお知らせします。

	件名	審議結果
6月定例会の条例改正	市職員の育児休業等に関する条例及び市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全員賛成 原案可決
	市国民健康保険税条例の一部改正	賛成多数 原案可決
	市簡易水道事業給水条例の一部改正	全員賛成 原案可決
6月定例会の平成22年度の新年度予算	市一般会計予算	賛成多数 原案可決
	市国民健康保険特別会計予算	賛成多数 原案可決
	市土地取得特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市簡易水道事業特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市市営住宅管理事業特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市老人保健特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市介護保険特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市公共下水道事業特別会計予算	全員賛成 原案可決
	市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数 原案可決
	市七宝水道事業会計予算	全員賛成 原案可決
	市美和下水道事業会計予算	全員賛成 原案可決
	市病院事業会計予算	賛成多数 原案可決
6月定例会の人事案件	市道路線の認定	全員賛成 原案可決
	市教育委員会委員の任命(4件)	全員賛成 原案同意
	市教育委員会委員の任命(1件)	賛成多数 原案同意
	市監査委員の選任(1件)	全員賛成 原案同意
	市監査委員の選任(1件)	賛成多数 原案同意
	市公平委員会委員の選任(3件)	全員賛成 原案同意
	市固定資産評価審査委員会委員の選任(3件)	全員賛成 原案同意
	市人権擁護委員候補者の推薦	全員賛成 原案適任
市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙(計8件)	全員賛成 異議なし	
6月定例会の陳情	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情	賛成多数 採 択
	子ども手当の廃止を求める陳情	賛成少数 不 採 択
	働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書	賛成少数 不 採 択
	私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充を求める陳情書	賛成多数 採 択
	市民病院建設調査特別委員会の設置	全員賛成 異議なし

	件名	審議結果
4月の第1回臨時会にて(専決処分の承認)	市役所の位置を定める条例ほか157件の条例の制定	賛成多数 原案承認
	平成21年度市一般会計暫定予算ほか12件の暫定予算	全員賛成 原案承認
	平成22年度市一般会計暫定予算ほか12件の暫定予算	全員賛成 原案承認
	市公金取扱指定金融機関の指定	全員賛成 原案承認
	市の字の名称の変更	全員賛成 原案承認
	海部地方教育事務協議会への加入	全員賛成 原案承認
	市税条例の一部を改正する条例	賛成多数 原案承認
4月の第2回臨時会にて(可決)	農業委員会委員の推薦(4月の第1回臨時会にて)	全員賛成 原案可決
	市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正	全員賛成 原案可決
	市と愛知県との間の公務災害補償等認定委員会及び公務災害補償等審査会の事務の委託	全員賛成 原案可決
	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	全員賛成 原案可決
平成22年度の6月の定例会にて(専決処分の承認)	市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	全員賛成 原案可決
	市心身障害者作業所条例の一部改正	全員賛成 原案可決
	市長職務執行者の給料の月額減額に関する条例	賛成多数 原案可決
	市公民館条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市立小中学校体育施設の開放に関する使用料条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市介護保険条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市消防団条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市防災センター条例等の一部改正	全員賛成 原案承認
	市職員の給与に関する条例の一部改正	賛成多数 原案承認
	市七宝総合福祉センター条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市美和総合福祉センターすみの里条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市児童遊園及びちびっこ広場条例の一部改正	全員賛成 原案承認
	市憩の家条例の一部改正	全員賛成 原案承認
市心身障害者作業所条例の一部改正	全員賛成 原案承認	
市改良住宅条例の一部改正	全員賛成 原案承認	
市都市下水路条例の一部改正	全員賛成 原案承認	

# あま市議会議員の紹介



柏原 功 50歳  
公明党 旧七宝町



石川 尚子 50歳  
無所属 旧美和町



清田 英樹 49歳  
無所属 旧美和町



加藤 正 46歳  
無所属 旧甚目寺町



石田 良雄 45歳  
無所属 旧甚目寺町



寺本かね子 65歳  
無所属 旧甚目寺町



林 正彦 48歳  
無所属 旧甚目寺町



後藤 幸正 55歳  
無所属 旧七宝町



倉橋 博 65歳  
無所属 旧七宝町



橋口 紀義 56歳  
公明党 旧美和町



青木 敏己 69歳  
無所属 旧七宝町



山田あつ子 58歳  
公明党 旧甚目寺町



足立 詔子 47歳  
公明党 旧甚目寺町



花木 敏行 59歳  
無所属 旧美和町



前田 豊光 54歳  
無所属 旧美和町



杉藤 憲二 61歳  
無所属 旧美和町



横井 敏夫 54歳  
無所属 旧美和町



藤井 定彦 63歳  
無所属 旧甚目寺町



伊藤 照光 73歳  
無所属 旧甚目寺町



室田 卓史 69歳  
無所属 旧七宝町



伊藤 嘉規 42歳  
無所属 旧甚目寺町



渡邊 明 68歳  
無所属 旧七宝町



佐藤 次男 70歳  
無所属 旧七宝町



安江 智子 62歳  
公明党 旧七宝町



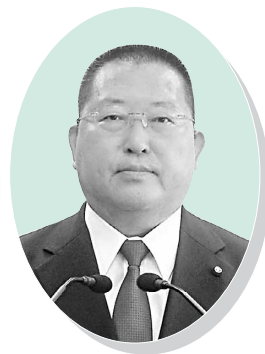
鈴木 良弘 62歳  
無所属 旧美和町



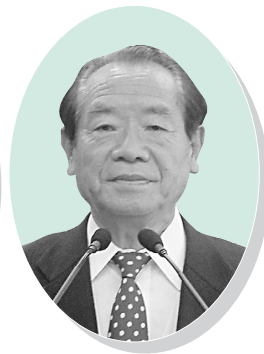
水谷 康治 69歳  
無所属 旧甚目寺町



寺本 隆男 62歳  
無所属 旧七宝町



八島 進 61歳  
無所属 旧七宝町



櫻井 信夫 71歳  
無所属 旧七宝町



吉川 景男 67歳  
無所属 旧甚目寺町



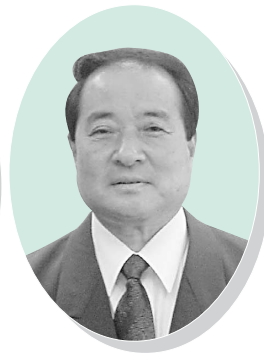
野中 幸夫 57歳  
共産党 旧甚目寺町



亀卦川参生 63歳  
共産党 旧美和町



加藤 哲生 47歳  
共産党 旧甚目寺町



松下 昭憲 63歳  
無所属 旧美和町



林 立規 71歳  
無所属 旧七宝町



岩本 一三 67歳  
無所属 旧七宝町



林 豊 72歳  
無所属 旧美和町



横井 正秀 72歳  
無所属 旧美和町



松浦 茂昌 66歳  
無所属 旧甚目寺町



新聞 賢治 69歳  
無所属 旧甚目寺町

在任特例により、引き続きあま市の議会議員となった、旧3町選出の議員名、旧町名、所属党派、年齢（9月1日現在）を紹介しています。なお、掲載順位は、議席番号順です。

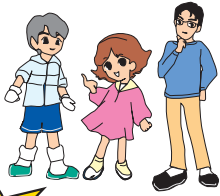
# 市政を知る良い機会!

## あなたも議会を傍聴しませんか?

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろうか。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所基目寺庁舎の2階の仮議場前の受付で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。



次回の定例会は、**9月7日(火)**からの予定です。



ご意見や  
ご質問を  
お待ちしております

### お問合せ先

○あま市議会事務局まで  
TEL 052-444-3174  
FAX 052-444-4055  
Eメール  
giji@city.ama.lg.jp

# 「子ども議会」市民の目での質問

8月9日、午前9時30分から子ども議会が、仮議場で行われました。議会に先立ち、各中学校から6人ずつ選出された30人の「議員」は、松下昭憲議長から「当選証書」を受け取り、議席に着きました。



一般質問形式で行われ、まちづくり、合併のメリット、学校給食など10のテーマで、30人全員が市民の立場から質問しました。

市がさらに発展していく「まちづくり」に、「イメージキャラクター」の募集をしては。」との質問に、企画政策課長は「今は募集計画はないが、市民の声を聞いて検討したい。」と答えました。

合併して「市の予算が増えたが、どういうところで使っていきますか。」の質問には、企画政策課長は「予算に余裕はできていないが、市長の6つの重点項目に沿って使いたい。中でも、老朽化した市民病院の建替えを計



画しています。」と答えました。

「合併後は学校給食メニューの減少など、マイナス面を感じる。」との質問に、学校給食センター課長は「栄養教諭などにより、創意工夫していますが、さらに改善していきます。」と答えました。28人の「傍聴人」が、質問を見守りました。

# 「給食」では中学生らしさも発揮

## 編集後記

あま市議会だより創刊号の発刊にあたり、編集委員は連日「いかに分かりやすく、市政の情報を伝えることができるのか」と奮闘の末、皆さまのお手元にお届けすることができました。新市ができ、半年。「生涯、住み続けたいなるまちづくり」の実現に向かって真剣に取り組んでいきます。これからも議会だよりを「愛読のほど、よろしく願います。」

(安江)

### ■議会だより編集

特別委員会

委員長 安江 智子

副委員長 亀卦川 参生

委員 新間 賢治

委員 林 正彦

委員 後藤 幸正

委員 倉橋 幸博

委員 石川 尚子

委員 石田 良雄